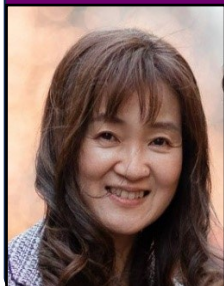


「エンパワメント」と就業との関係の要因分析



【中野キャンパス】人文社会学部 人間文化学科
グローバルコミュニケーションコース 教授

新村 恵美 Niimura Megumi

URL : [帝京平成大学 教員業績紹介ページ](#)

キーワード : エンパワメント・女性労働・開発とジェンダー・ジェンダー規範



研究の概要

SDGs 目標 5 : ジェンダー平等を実現しよう

SDGs 目標 8 : 働きがいも 経済成長も

ジェンダー平等と、その達成プロセスとなる女性の「エンパワメント」は遅々として進んでいない。国連の MDGs や SDGs をはじめ、長年、国際的な最重要課題の 1 つとして位置づけられているにもかかわらず、である。

女性の「エンパワメント」は、世帯内・社会での意思決定への参加や、ジェンダー不平等への気づき等で測定が可能とされる。これまでの研究で、インドの有配偶女性を対象として、エンパワメントが進まない背景に、意識／無意識に女性のエンパワメントを阻む「ジェンダー規範」の存在があること、そしてそれが広く受容されている可能性を検討してきた。

今後の研究では、ジェンダー規範がどのようなもので、いかなる要因と関係しているのか、「ジェンダー不平等への気づき」はいかにして得られるのか、を見出し、女性のエンパワメントを通じたジェンダー平等達成への示唆を得ることを目的とする。

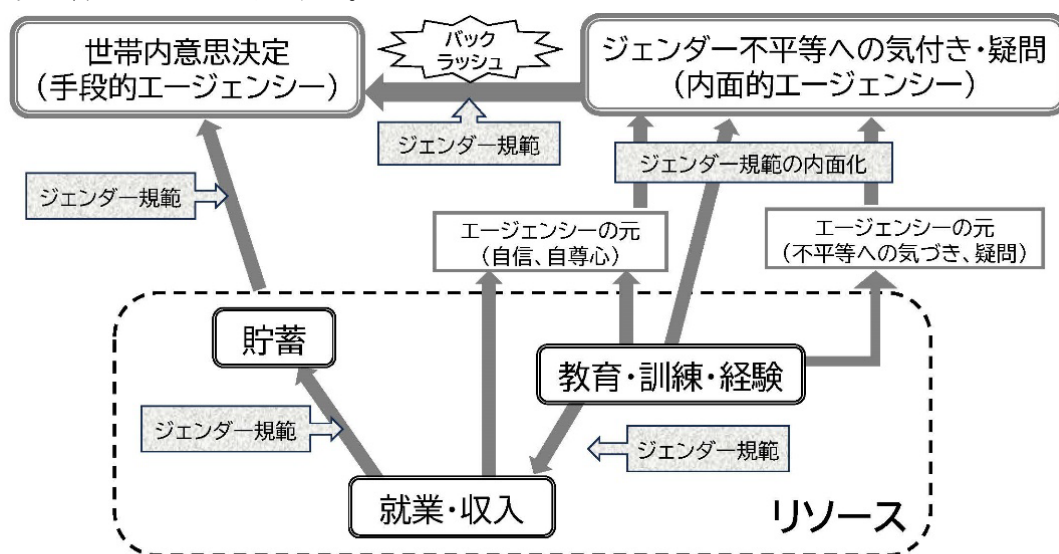


図 エンパワメントのプロセス
どのようにエージェンシーを獲得するのか、何が阻害するのか

出所) データ分析結果より筆者作成。

実学へのつながり・産業界や自治体へのアピールポイント・協力可能事項・協力希望事項

日本でも国際社会でも喫緊の課題である「女性のエンパワメント」を達成するために阻害要因となっている「ジェンダー規範」の固定化・再生産の要因を特定し、エンパワメント達成に役立つ示唆を得る。

知的財産・論文・学術発表など（詳細は右上 QR コードの教員紹介からご確認ください）

【論文】

- ・「なぜ経済的リソースは「世帯内意思決定」に活かされないのかーインド都市の有配偶就業女性のエンパワメント」
- ・「インドの有配偶女性の就業選択ー本人・家族に着目した都市・農村 2 時点間の分解分析」
- ・「女性のエンパワメント測定の理論的枠組みと指標ー人口保健調査 (DHS) の関連マイクロ指標の検討」